### 演習 4 - 製品化と公開

この演習では、これまでの演習で作成したAPIを製品化して公開します。

## 演習 4 - 目的

この演習では、以下の内容を理解できます。

- 製品、プランを定義する方法
- レート制限を追加する方法
- 製品の公開方法

## 4.1 - 製品、プランの作成

- 1. API Managerにログインしていない場合には、ログインします。
- 2. 左のメニューから 開発 を選択し、開発メニューに進みます。



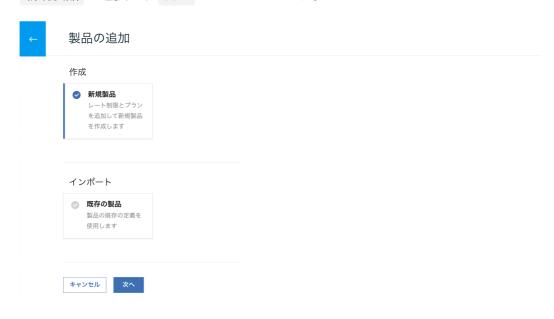
3. 開発 画面で、 追加 メニューから 製品 を選択します。





製品とは、APIをグルーピングして公開する単位です。作成したAPIは製品に含めて公開し、製品単位でライフサイクルを管理します。

4. 新規製品 を選択し、 次へ をクリックします。



5. タイトル に FindBranch と入力し、 次へ をクリックします。



6. この製品に追加するAPIを選択します。ここでは、 branch-key と FindBranch を選択して、 次へ をクリックします。

#### ← 新規製品の作成



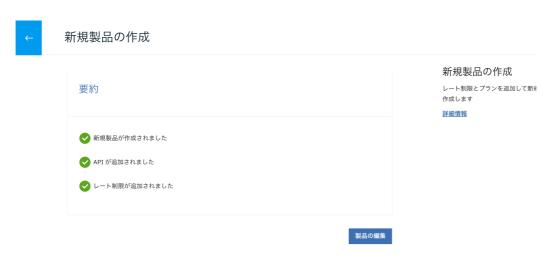
7. プラン はあとで編集するので、ここではデフォルトのまま 次へ をクリックします。



8. 次の画面もデフォルトのまま 次へ をクリックします。

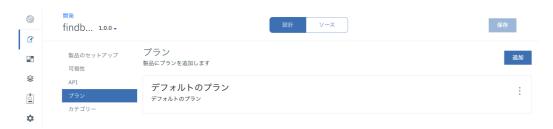


9. 製品の枠が作成されます。 製品の編集 をクリックして、設定の確認、編集を行います。



- 10. 製品には、どのような設定が含まれるのかを確認してみましょう。まず、 製品のセットアップ メニューには、製品のタイトルや問い合わせ先など、基本的な情報が含まれています。これらの情報は、製品を公開すると開発者ポータルへ表示されます。
- 11. 左のメニューからプランを選択します。現在ウィザードで作成したデフォルトのプランが1つのみ設定されているので、右の 追加 ボタンをクリックしてプラ

#### ンを追加します。

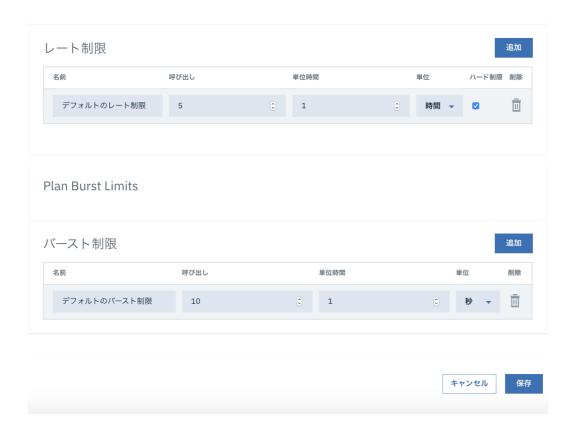




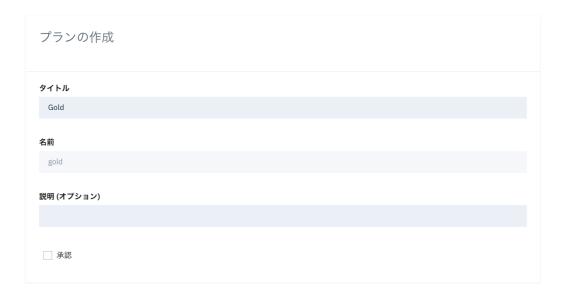
プランとは、製品の中に定義する、API利用者にAPIの利用登録をさせる単位です。プランごとに、利用可能なAPIやレート制限を変えておくことで、APIの利用可否、呼び出し可能回数を、API利用者(クライアントアプリケーション)ごとに制御できます。

12. プランのタイトルに Silver と入力し、 レート制限 を 5回/1時間 に変更します。 バースト制限 はデフォルトのままにしておきます。下までスクロールして、 保存 をクリックして保存します。



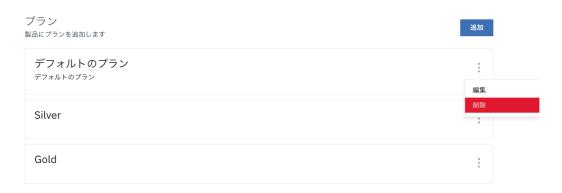


13. 同様の手順で Gold プランを作成します。 レート制限 を 10回/1時間 に変更します。 バースト制限 はデフォルトのままにしておきます。下までスクロールして、 保存 をクリックして保存します。





14. 最初に作成されたデフォルトのプランを削除します。 デフォルトのプラン の右のメニューをクリックし、 削除 を選択して削除します。



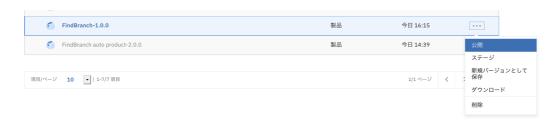
以上で、製品、プランの作成が完了しました。

# 4.2 - 製品の公開

1. 作成したプランを公開します。左のメニューから 開発 を選択して開発メニューに戻ります。



2. FindBranch 製品の右のメニューから 公開 を選択します。





- 一覧には、APIと製品の両方がリストされているため、同じ名前のAPIを 選択しないように注意してください。
- 3. カタログは Sandbox が指定されていることを確認し、 公開 をクリックして、 製品を公開します。



# 4.3 - 製品のステータスの確認

1. 公開した製品のステータスを確認してみましょう。カタログの管理画面で確認ができます。左のメニューから管理を選択します。

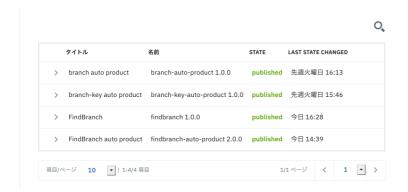


2. 公開先のカタログを選択します。ここでは Sandbox を選択します。

カタログは、API 製品が公開されたときに、関連付けられた開発者ポータルに表示される API 製品のコレクションをホストします



3. Sandbox カタログにデプロイされている製品の一覧が表示されます。先ほど 公開した FindBranch 製品のステータスが published になっていることを確認してください。





一覧には、手動で公開した製品以外にも、テストツールでテストを行った際に、自動的に作成、公開された製品も含まれています。自動で作成された製品には、製品名の最後に auto product という名前がつけられています。

左上の
左上の
をクリックして戻ります。

続いて、 演習 5 - 開発者ポータルの利用に進んでください。